

発委第 1 号

令和 3 年 6 月 1 日提出

淡路市議会議長  
岬 光彦 様

提出者 淡路市議会産業厚生常任委員会  
委員長 松本 英志

「2025年日本国際博覧会（大阪・関西万博）」の各施設で、  
屋根・壁・床の資材に淡路瓦の使用、推奨を求める意見書

上記の議案を別紙のとおり、淡路市議会会議規則第14条第2項の規定により提出します。

（提案理由）

淡路瓦は、400余年の歴史を持ち兵庫県の地場産業であり、淡路島の基幹産業として地域経済に深く根づき、大きな役割を果たしてきた。同時に、日本が世界に誇れる建材である。

このようなことから、世界中の人々が集う2025年開催予定の「2025年日本国際博覧会（大阪・関西万博）」会場施設において、屋根・壁・床などに淡路瓦を建築資材として活用することを国に求めていく必要がある。

「2025年日本国際博覧会（大阪・関西万博）」の各施設で、  
屋根・壁・床の資材に淡路瓦の使用、推奨を求める意見書

淡路瓦は、400余年の歴史を持ち兵庫県の地場産業であり、淡路島の基幹産業として地域経済に深く根づき、大きな役割を果たして参りました。また、三州瓦（愛知県）石州瓦（島根県）と並び日本三大産地の一つに数えられ、いぶし瓦においては、日本一の生産量を誇っております。

しかし近年特に阪神・淡路大震災以降、建築様式が大きく様変わりし、工業化住宅（洋風化住宅）が急速に伸展したことにより、長期間の低迷から極めて厳しい経営環境下にあります。この厳しい現状を打破するため、国、県、市のご支援により淡路瓦の販売促進を図るための屋根材の新商品開発、屋根材以外（壁材・床材）の新商品開発、国内や海外の展示会出展、地域ブランドの取得、海外への販路開拓に鋭意取り組んで参りました。

結果、北海道でも葺ける寒さに強く変色しにくい瓦『黒いぶし瓦』『古代いぶし瓦』が新商品開発の成果として商品化され、国内はもとより、海外でも中国や台湾を中心に販路を広げております。また、新開発された『壁材』『床材』の新商品が、大手ホテルや大手コーヒーショップ、有名店舗等に採用され好評を得ております。

約1400年の昔から多くの日本建築に用いられてきた瓦、自然と人間の共生、地域と住民の共生が生んだ瓦、粘土の表面に炭素膜を形成させ、独特の味のあるいぶし銀の光沢、日本が世界に発信できる伝統の色、メイドインジャパンの淡路瓦は日本が世界に誇れる建材であり、『瓦』の『美』を世界中の人々が集う「2025年日本国際博覧会（大阪・関西万博）」会場において見て頂きたく、各施設に淡路瓦の屋根・壁・床の建築資材のご使用、ご推奨をお願い申し上げます。

## 記

1. 世界中の人々が集う「2025年日本国際博覧会（大阪・関西万博）」会場において、各施設に淡路瓦の屋根・壁・床の建築資材のご使用、ご推奨をお願い申し上げます。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

令和3年 月 日

兵庫県淡路市議会議長 岬 光 彦

内閣総理大臣 菅 義 偉 様

内閣官房長官 加 藤 勝 信 様

経済産業大臣  
産業競争力担当  
ロシア経済分野協力担当  
原子力経済被害担当  
内閣府特命担当大臣  
(原子力損害賠償・廃炉等支援機構) 梶 山 弘 志 様

国土交通大臣  
水循環政策担当 赤 羽 一 嘉 様

経済再生担当  
全世代型社会保障改革担当  
内閣府特命担当大臣  
(経済財政政策) 西 村 康 稔 様

国際博覧会担当  
内閣府特命担当大臣  
(消費者及び食品安全  
クールジャパン戦略 知的財産戦略  
科学技術政策 宇宙政策) 井 上 信 治 様